施設名	南大沢文化会館

視点	評価項目		No.	6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価（コメント）	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価（コメント）	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価（コメント）	期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	事業計画書に基づく人員の配置 【課長1名、主査1名　主任1名、管理運営9名、舞台管理5名、芸術文化事業企画担当2】	1	B		館長1、主査1、主任1、管理運営9、舞台管理5、芸術文化事業企画担当2	B		館長1、主査1、主任1、管理運営9、舞台管理5、芸術文化事業企画担当2	B	芸術文化会館の休館に伴う、事務従事職員の受け入れにより増となった。	館長1、主査1、主任2(事務従事1を含む）、管理運営8、舞台管理6（事務従事1を含む）、芸術文化事業企画担当2	B		館長1、主査1、主任2(事務従事1を含む）、管理運営8、舞台管理6（事務従事1を含む）、芸術文化事業企画担当2
	定量的	事業計画書に基づく有資格者の配置 ・甲種防火防災管理者1名 ・上級救命技能認定者1名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者1名 ・自衛消防隊技能認定者2名 ・舞台機構調整技能2級1名 ・照明技術1級1名 ・普通第一種圧力容器取扱作業主任1名	2	B		・甲種防火防災管理者1名 ・防火管理者1名 ・上級救命技能認定3名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者2名 ・自衛消防隊技能認定者2名 ・舞台機構調整技能士（音響）2級2名 ・舞台機構調整技能士（音響）3級1名 ・照明技術1級1名 ・普通第一種圧力容器取扱作業主任1名	B		・甲種防火防災管理者1名 ・防火管理者1名 ・上級救命技能認定4名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者2名 ・自衛消防隊技能認定者2名 ・舞台機構調整技能士（音響）2級2名 ・舞台機構調整技能士（音響）3級1名 ・照明技術1級1名 ・普通第一種圧力容器取扱作業主任1名	B		・甲種防火防災管理者1名 ・防火管理者1名 ・上級救命技能認定4名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者2名 ・自衛消防隊技能認定者2名 ・舞台機構調整技能士（音響）2級2名 ・舞台機構調整技能士（音響）3級1名 ・照明技術1級1名 ・照明技術2級1名 ・普通第一種圧力容器取扱作業主任1名	B		・甲種防火防災管理者1名 ・防火管理者1名 ・上級救命技能認定4名 ・職長・安全衛生責任者教育修了者2名 ・自衛消防隊技能認定者2名 ・舞台機構調整技能士（音響）2級2名 ・舞台機構調整技能士（音響）3級1名 ・照明技術1級1名 ・照明技術2級1名 ・普通第一種圧力容器取扱作業主任2名
	定量的	設備及び備品の点検実施回数 設備点検：37回／年 【舞台関係設備24回、圧力容器13回】 備品点検：16回／年 【ピアノ点検16回】	3	－	年度末の数値をもって評価する。	【設備点検】 ・舞台2回 ・照明0回 ・音響4回 ・圧力容器3回　　計9回 【備品点検】 ・ピアノ点検4回	－		【設備点検】 ・舞台3回 ・照明2回 ・音響0回 ・圧力容器3回　　計8回 【備品点検】 ・ピアノ点検4回	－		【設備点検】 ・舞台3回 ・照明0回 ・音響4回 ・ITV1回 ・映写設備1回 ・圧力容器3回　　計12回 【備品点検】 ・ピアノ点検4回	B		【設備点検】 ・舞台2回 ・照明2回 ・音響0回 ・ITV0回 ・映写設備0回 舞台関係設備累計24回 ・圧力容器4回 圧力容器点検累計13回 設備点検累計　　37回 【備品点検】 ・ピアノ点検4回 ピアノ点検累計16回
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること 管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例：銀行口座】	4	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用した。
	定性的	資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例：独立した会計帳簿】	5	B		資金を適切に管理するとともに経理内容を明確にしている。	B		資金を適切に管理するとともに経理内容を明確にしている。	B		資金を適切に管理するとともに経理内容を明確にしている。	B		資金を適切に管理するとともに経理内容を明確にした。
	定性的	利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか 【確認資料例：独立した会計帳簿、日報、月報、銀行口座】	6	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。 10月から始まるインボイスに備え、準備を進めた。	B	インボイス制度が開始されたが、利用者への対応で問題は生じていないとの報告があった。	適切に行っている。 10月から開始したインボイスは、様々な事例が発生したが、都度、確認作業を行い、軌道に乗りつつある。	B		適切に行った。 10月から開始したインボイス制度は、利用者への対応で問題は生じなかった。
	定性的	収支計画が適正であること 収支計画が適正に執行されているか 【確認資料例：事業計画書（収支計画）、事業報告書】	7	B		新型コロナウイルスが5類扱いになり、利用料金等の収入は概ね順調と認識している。予算の執行は計画的に行い、収支状況は毎月市に報告している。	B		新型コロナウイルスが5類扱いになり、利用料金等の収入は概ねコロナ前の水準まで回復していると認識している。予算の執行は計画的に行い、収支状況は毎月市に報告している。	B		利用料金等の収入は概ねコロナ前の水準まで回復していると認識している。予算の執行は計画的に行い、収支状況は毎月市に報告している。	B		令和5年度の利用料金収入は、予算比100.6%となり、概ねコロナ前の水準まで回復していると認識している。 状況に即して適正な執行に努めており、収支状況は毎月市に報告した。
	定性的	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること 業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか 【確認資料例：事業計画書（人員配置計画）、事業報告書、研修報告書、実地調査】	8	B	「窓口業務研修」は、令和5年3月と4月にそれぞれ1名ずつ採用した臨時職員に窓口対応など、基礎的な研修を行ったもの。	事業計画どおりに人員を配置した。人材育成を目的に、会館独自の実務研修として窓口業務研修を実施した。 また、４月の異動で館長が代わったため、業務に必要な防火・防災管理講習を受講したほか、学校運営協議会新任委員研修会に参加した。	B	展示研修では、利用者に説明する機会の多い臨時職員を対象に、展示室のフックのかけ方や照明の当て方などを指導した。	事業計画どおりに人員を配置した。人材育成を目的に会館独自の実務研修として、職員が講師となり展示研修を実施した。 また、アートマネジメント講座、サービス介助士取得講座及び、上級救命講習を受講した。	B		管理運営の人員が1名欠員となったが、いちょうホールから事務従事の職員を1名受け入れた。また、舞台職員もいちょうホールから1名受け入れ、計画を上回る人員で運営した。研修については、安全衛生推進者講習、交通安全研修、環境マネジメント研修等を受講した。また、主査職の職員が、目標などを認識し、主体的に業務を遂行できるようにするため、外部研修をオンラインで受講した。	B		12月から管理運営の人員が1名欠員となったが、いちょうホールから事務従事の職員を1名受け入れた。また、同様に舞台職員も1名受け入れ、計画を上回る人員で運営した。 年間を通じて適切な人材育成に努め、第4四半期では、情報セキュリティ研修・会計担当研修を実施した。また、施設管理に必要な資格取得者を配置する目的で、サービス介助士フォローアップ研修・サービス介助基礎研修、第一種圧力容器取扱作業主任者技能講習会に参加した。
	定性的	給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例：給与規程、賃金台帳】	9	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		適切に行った。
	定性的	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか 事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例：財務諸表、財務評価表】	10	B	財団全体の執行会議に出席し、経営状況を確認している。	新型コロナウイルスが5類扱いとなり、施設の予約状況もコロナ前の状況に概ね戻っている。経営状況は健全になるよう努めている。	B		新型コロナウイルスが5類扱いとなり、施設の予約状況もコロナ前の状況に概ね戻っている。経営状況は健全になるよう努めている。	B		新型コロナウイルスが5類扱いとなり、施設の予約状況もコロナ前の状況に概ね戻っている。経営状況は健全になるよう努めている。	B		新型コロナウイルスが5類扱いとなり、施設の予約状況もコロナ前の状況に概ね戻っている。経営状況は健全になるよう努めた。
	定性的	業務の一括委託が行われていないか 【確認資料例：第三者への一部事務委託に関する承諾書、事業報告書、実地調査、会計帳簿】	11	B		「南大沢文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条第1項に規定する業務以外は、業務の一括委託は行っていない。なお、同条に規定する業務ついては、市に協議のうえ一部委託している。	B		「南大沢文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条第1項に規定する業務以外は、業務の一括委託は行っていない。なお、同条に規定する業務ついては、市に協議のうえ一部委託している。	B		「南大沢文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条第1項に規定する業務以外は、業務の一括委託は行っていない。なお、同条に規定する業務ついては、市に協議のうえ一部委託している。	B	令和5年度（2023年度）に委託した業務について、実績報告が提出され、年度当初の協議に即した内容であることを確認した。	「南大沢文化会館の指定管理に関する基本協定」第16条第1項に規定する業務以外は、業務の一括委託は行っていない。なお、同条に規定する業務ついては、市に協議のうえ一部委託した。

令和5年度モニタリングシート【南大沢文化会館】

視点	評価項目			No.	６月 所管課評価	６月 所管課コメント	６月 指定管理者自己評価（コメント）	９月 所管課評価	９月 所管課コメント	９月 指定管理者自己評価（コメント）	１２月 所管課評価	１２月 所管課コメント	１２月 指定管理者自己評価（コメント）	期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	業務に関連する法令一覧の更新回数 【1回／年】		12	B		更新済（6月）	-		第1四半期に更新済	-		第1四半期に更新済	B	現物を確認した。	第1四半期に更新済
	定量的	受付・事務スタッフのサービス介助士 取得率 （臨時職員、期中の新規採用者、休職中の職員は除く） 【100%】		13	-	年度末の数値をもって評価する。	100%取得済み ※R4年10月新規採用者1名を除く（8月受講予定）。	-		100%取得済み ※R4年10月新規採用者は、8月に受講済。	-		100%取得済み	A	対象外の職員も含めて、100%を維持した点を評価したい。（なお、臨時職員は、サービス介助基礎研修を全員が受講している。）	100%取得済
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開館日数、開館時間は守られていたか 【確認資料例：条例、規則、日報、月報、事業報告書】	14	B		第1四半期 78日開館	B		第2四半期 79日開館 累計　157日開館。	B		第3四半期 76日開館 累計　233日開館。	B		第4四半期 76日開館 開館日数及び開館時間を遵守した。 累計　309日開館。
			減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか 【確認資料例：減免申請書、事業報告書、減免申請に係る帳簿】	15	-		第1四半期での実績なし。	B	ヒアリングの際に申請書等を確認した。	第2四半期での実績　　1件 累計　　1件	B	ヒアリングの際に申請書等を確認した。	第3四半期での実績　　1件 累計　　2件	B	申請書や承認書など、一連の書類により、年間を通じて適切に事務処理がなされていることが確認できた。	第4四半期での実績　　0件 累計　　2件 障害者団体の利用における減免申請を適正に処理をした。
	定性的	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【確認資料例：ファイル基準表、実地調査】	16	B		基準表を作成し、適切に文書の管理を行っている。	B		基準表を作成し、適切に文書の管理を行っている。 ファイル基準表を更新し、8/8 に保存年限の過ぎた文書を廃棄した。	B		基準表を作成し、適切に文書の管理を行っている。	B	現物を確認した。	基準表を作成し、適切に文書の管理を行った。
			修繕等、施設保全が適切に行われているか 【確認資料例：事業報告書、実地調査】	17	B		適切に行っている。 第1四半期では主ホールコンデンサーマイク修繕及びプログラムスタンド修繕を行った。	B		適切に行っている。 第2四半期では市民ロビーとオーケストラロビーのソファー修繕や主ホールCDレコーダー修繕等を行った。	B	交換したUPSバッテリーは、主ホールの舞台装置のもので、停電時に電源を供給する役割を果たしている。	適切に行っている。 第3四半期では施設予約システムのインボイス対応修繕や、主ホールUPSバッテリー交換修繕等を行った。	B	エアマイク及びワイヤレスマイクの修繕について、利用者への影響はなかった。市が行う音響設備の工事の施工者と調整して、効率的にマイク修繕を行った。	年間を通じて計画的な修繕に努めた。 第4四半期では交流ホールのエアマイクおよびワイヤレスマイク修繕や、主ホールホワイエ通路および一部階段タイルカーペット貼替え修繕等を行った。
			備品の管理が適切に行われているか 【確認資料例：備品台帳、実地調査】	18	B		備品の管理について、利用後の確認及び日常のパトロールにより、適切に管理している。	B		備品の管理について、利用後の確認及び日常のパトロールにより、適切に管理している。 市から重要備品の照会があり、台帳と現品を照合し、9月28日付で問題なかった旨、報告した。	B		利用後の確認及び日常のパトロールで状況を確認し、適切に管理を行っている。 備品台帳と現品を照合し、10月28日付で照合結果と備品廃棄報告書を市に提出した。	B		利用後の確認及び日常のパトロールで状況を確認し、適切に管理を行った。 備品台帳の確認は、第3四半期に実施済。
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者満足度	・総合的な満足度　　98%以上（「大いに満足」、「満足」の割合） ・「大いに満足」の割合　47%以上	19	-	実施後の数値をもって評価する。	第1四半期での実績なし。 （9、10月に実施予定）	-		9月1日から、満足度調査を開始した。 サンプル数100枚以上（各部屋最低10サンプル以上）確保することを目標に10月まで実施を予定している。	A	サンプル数を目標以上に収集し、そのうえで総合的な満足度が100%であったことは積極的に評価したい。	9月1日～10月31日に満足度調査を実施した。サンプルを100枚以上集める予定であったが、141枚回答を得た。調査結果は、12月5日に市に提出した。 総合的な満足度 ・大いに満足・満足の割合　100.0% ・大いに満足の割合　48.9%	A	満足度調査のサンプルを予定数以上収集し、より多くの利用者の声を反映できるよう努め、そのうえで「大いに満足」及び「満足」の割合が100%であったことは評価したい。	第3四半期で調査実施済。 目標を達成した。
	定量的	施設や実施事業の情報をホームページに掲載し発信した回数　【25回／年】		20	-	年度末の数値をもって評価する。	事業に関する情報 12回 施設に関する情報　 2回 計14回	-		事業に関する情報 10回 施設に関する情報　 0回 計　 10回 累計　24回	-		事業に関する情報 11回 施設に関する情報　 1回 計　 12回 累計　36回	A	目標を120%以上の数値で達成した。自主事業を中心に積極的な情報発信に努めており評価できる。	事業に関する情報 7回 施設に関する情報　 0回 計　 7回 累計　43回
		施設や実施事業の情報を、情報紙「ラララ」に掲載し発信した回数　【25回／年】		21	-	年度末の数値をもって評価する。	事業に関する情報　12回 施設に関する情報　 1回 計13回	-		事業に関する情報 13回 施設に関する情報　 2回 計　 15回 累計　28回	-		事業に関する情報 21回 施設に関する情報　 1回 計　 22回 累計　50回	A	目標を120%以上の数値で達成した。積極的な情報発信に努めており、評価したい。	事業に関する情報 19回 施設に関する情報　 1回 計　 20回 累計　70回
	定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【確認資料例：相談、苦情をまとめた整理帳簿】	22	B	会議室のホワイトボードに関する要望が2件寄せられたが、いずれも早急に対応していた。	・お客様の声対応システムにより適切に対応している。 ・第1四半期では、ホワイトボードの表面に傷がある、ホワイトボードのイレーサーが消えにくい等の声が寄せられ、それぞれ交換した。要望9件、謝辞19件。	A	諸室についてのみ、事前の申請により施設側で代理抽選する取組を12月から始める。利用者からの要望を踏まえてサービス改善を図るものであり、また他の文化施設とも情報共有している。積極的に取り組んでおり評価したい。	・お客様の声対応システムにより適切に対応している。 ・施設の抽選会に参加する負担軽減を求める要望を受け、内部で検討し、12月から来館しなくても参加できる方法にすることとした。そのほか、利用時間帯や、動線に関すること、駐車場に関する要望などがあった。要望6件、謝辞20件。 累計　　要望15件、謝辞39件。	B	ホワイトボードマーカーは、書くときの角度でインクが出にくいことがあるとのこと。ピアノの調律は計画的に行っているが、音の好みにより要望につながっていると報告があった。	・お客様の声対応システムにより適切に対応している。 ・ピアノの調律、工事の音、空調のリモコン設置、ホワイトボードのペンに関する要望があった。改善の可能なものについては、対応している。 要望4件、謝辞30件。 累計　　要望19件、謝辞69件。	B	本年度は、ホワイトボードに関する要望が多く見られた。ホワイトボードとペンの相性の確認やイレイサーの改善など、原因の分析と対策を検討していた。今後、改善を望む。	・お客様の声対応システムにより適切に対応した。 ・会議室扉フランス錠、ホワイトボードのイレイサーに関する要望があった。改善の可能なものについては、対応した。 要望2件、謝辞6件。 累計　　要望21件、謝辞75件。
施設の効率的な管理・運営が行われ、経費の節減が図られているか	定量的	南大沢文化会館維持管理経費(人件費本体を除く)の支出額 【収支計画：28,800千円以下】		23	-	年度末の数値をもって評価する。	第1四半期実績 2,212,465円	-		第2四半期実績 3,080,004円 累計　5,292,469円	-		第3四半期実績 4,729,019円 累計　10,021,488円	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないためB評価とする。	第3四半期実績 14,319,864円 累計　24,341,352円
	定量的	利用料金収入額 【収支計画：51,821千円以上】		24	-	年度末の数値をもって評価する。	第1四半期実績 20,017,210円	-		第1四半期実績 13,916,870円 累計 33,934,080円	-		第3四半期実績 9,613,400円 累計 43,547,480円	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないためB評価とする。	第4四半期実績 8,562,120円 累計 52,109,600円

令和5年度モニタリングシート【南大沢文化会館】

視点	評価項目		No.	6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価（コメント）	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価（コメント）	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価（コメント）	期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的 施設の日数利用率	主ホール 80%以上	25	-	年度末の数値をもって評価する。 パルテノン多摩が再開した影響があるかもしれないとのこと。	第1四半期　61.3%	-		第2四半期　79.7% 累計　70.8%	-		第3四半期　88.9% 累計　76.5%	B		第4四半期　94.0% 累計　79.7%
		交流ホール 80%以上	26	-	年度末の数値をもって評価する。	第1四半期　69.2%	-		第2四半期　70.5% 累計　69.9%	-		第3四半期　75.7% 累計　71.7%	B		第4四半期　76.5% 累計　72.6%
		会議室、練習室等 95%以上	27	-	年度末の数値をもって評価する。	第1四半期　87.5%	-		第2四半期　91.0% 累計　89.3%	-		第3四半期　91.8% 累計　90.1%	B		第4四半期　91.4% 累計　90.4%
	定量的 利用者数　130,000人以上		28	-	年度末の数値をもって評価する。	第1四半期　24,999人	-		第2四半期　27,498人 累計　52,497人	-	ヒアリング時の見込みでは11万人ぐらいになると報告があった。	第3四半期　35,853人 累計　88,350人	B	前年比1,491人増であったものの、目標には届かなかった。コロナ禍以降、利用率は回復しているが、来場者数はまだ戻りきっていない感があるとの報告があった。	コロナの影響を脱出した感があるが、利用者数については、コロナ前の水準には戻らなかった。 第4四半期　29,053人 累計　117,403人
	定量的 地域文化の向上と、地域に根差した施設とするため、地域での活動への参加や、支援を行う回数 【44回／年】		29	-	年度末の数値をもって評価する。	青少年のための南大沢音楽祭打合せ　1回 南大沢文化祭打ち合わせ　1回 上柚木小学校運営協議会　2回 上柚木小学校入学式　1回 上柚木小学校離任式　1回 学校運営協議会新任委員研修会　1回 青少年対策南大沢地区委員会　2回 南大沢協力の会　3回 多摩公立文化施設協議会 ・総会 1回 ・協議会　1回 フレスコ南大沢 ・共同防火防災管理協議会　1回 ・地球温暖化会議　1回 4館情報共有ネットワーク会議　1回 第1四半期計 17回	-		青少年のための南大沢音楽祭打合せ　1回 上柚木小学校運営協議会　1回 青少年対策南大沢地区委員会　3回 南大沢協力の会　3回 多摩公立文化施設協議会 ・協議会　1回 ・事業研究会についての打合せ　1回 避難訓練コンサート参加校説明会　1回 3館会議　1回 4館情報共有ネットワーク会議　1回 学園都市ビジョン検討会　1回 第2四半期計 14回 累計　31回	-		青少年のための南大沢音楽祭打合せ　5回 （現場説明会含む） 南大沢文化祭打合せ　1回 上柚木小学校運営協議会　1回 青少年対策南大沢地区委員会　3回 南大沢協力の会　4回（クリーンデー含む） 多摩公立文化施設協議会 ・協議会　1回 ・事業研究会　1回 3館会議　2回 4館情報共有ネットワーク会議　1回 第3四半期計 19回 累計　50回	A	目標を120%以上の数値で達成した。地域の様々な団体と相互に協力、連携し、施設の運営に役立てている。今後の新たな展開に期待したい。	青少年のための南大沢音楽祭打合せ　2回 （反省含む） 南大沢文化祭打合せ　1回 上柚木小学校運営協議会　2回 上柚木小学校卒業式　1回 青少年対策南大沢地区委員会　2回 南大沢協力の会　3回 多摩公立文化施設協議会　1回 ㈱多摩TV放送番組審議会　1回 3館会議　1回 4館情報共有ネットワーク会議　1回 第4四半期計 15回 累計　65回
	定量的 市民が文化に触れる機会を提供するため、ロビーコンサートを実施する回数 【35回／年】		30	-	年度末の数値をもって評価する。	ロビーコンサート　7回実施	-		ロビーコンサート　11回実施 累計　18回	-		ロビーコンサート　11回実施 累計　29回	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	ロビーコンサート　11回実施 累計　40回
	定量的 地域の芸術文化活動を活性化するため、青少年対策地区委員会と協働し「青少年のための南大沢音楽祭」を実施する 【観客員数のべ900名】		31	-	年度末の数値をもって評価する。 南大沢音楽祭は令和6年2月3日に開催予定。	6/9　令和5年度の音楽祭の実施について、青少対Fブロックに所属する会長及び担当者との第1回会合を開催し、予算や実施に向けてのスケジュールの確認等を行った。 新型コロナウイルス感染症については、5類になったため特別な対策は不要となったが、感染状況の変化等を踏まえ国の情報提供等を受けて必要に応じた対策を行う。	-		9/8　青少対Fブロックに所属する会長及び担当者との第1回会合を開催し、参加団体の確認や、参加団体説明会の日時を決定した。今年度は6青少対、15団体が参加する。	-		10/13　11/17会合を開催し、出演順・楽屋割・ポスターチラシの配布時期・撮影の対応等について協議したほか、12/7運搬費用について青少対間で検討した。 また、11/17出演者説明会を開催し、当日の注意事項、動線等を確認したほか、12/14吹奏楽出演者との打ち合わせを行い、楽器の搬入時刻や段取り等を確認した。	A	のべ観客員数は1,780名と目標を大きく上回った。地域の音楽イベントを事務局として支えており、地域に根差した文化施設としての役割を果している。 　事業実施後、早々に反省会を行い、楽器の準備をどうするかなど、次年度の開催に向け動きだしている。イベントの更なる充実を楽しみにしたい。	出演団体と楽器搬入順等の調整及びプログラム作成など準備を進めつつ、 1/13　会合を開催し、出演順の最終確認・当日の役割分担・体制等について協議した。　2/3、音楽祭を実施。6青少対、15団体の参加申込みがあったが、直前に体調不良者が複数出たことにより1団体不参加となり、14団体での実施となった。当日は、吹奏楽やダンス等、熱のこもった演奏・演技が行われた。（観客員数のべ1,780名） 3月には青少対と反省会を行い、反省点等を洗い出した。アンケートには、「演奏が素晴らしかった、感動した」などの意見が寄せられた。
	定性的 本市の文化芸術振興に向けた管理運営がなされていること	「八王子市文化芸術振興条例」及び「八王子市文化芸術ビジョン」に基づき、文化芸術の振興に向けた管理運営が行われているか 【ヒアリング等で確認】	32	A	モーニングコンサートでは、オーボエ奏者を選定し、好評を得た。普段聞きなれない楽器の音色に触れる機会にもなっており、ビジョンの「こたえる」、「とどける」に資する取り組みとして評価できる。 ダンスワークショップは、近隣小学校の新3年生に案内のチラシを配布し、新たな参加を呼びかけた。ほぼ定員に達しており、地域における文化芸術の振興につながっている。	条例やビジョンに基づき、以下の取組を行った。 ①ビジョンの「ささえる」、「つたえる」取組として「ロビーコンサート」を7回実施した。 ②「つたえる」取組として「モーニングコンサート」（オーボエとピアノの演奏）を6月に実施した。入場者数77名。アンケートでは、「楽器の説明がありわかりやすく楽しめた」「オーボエのコンサートは初めてだが、オーケストラとは違う味わいがあった」等、聴く機会が多くないオーボエの演奏を堪能したとの意見が多かった。 ③「ささえる」、「そだてる」取組としてダンスワークショップを12回実施した。R4年度末に新規募集をかけていたが、13名が新規に参加することとなり、4/2には新入生保護者説明会を実施した。また、8月に中間発表会を開催すべく、準備を進めた。	B		条例やビジョンに基づき、以下の取組を行った。 ①ビジョンの「ささえる」、「つたえる」取組として「ロビーコンサート」を11回実施した。 ②「つたえる」取組として「モーニングコンサート」（テノール・バリトン・ソプラノ・ピアノの演奏）を9月に実施した。入場者数69名。アンケートでは、「きれいな迫力のある声が心に響いた」「モーニングコンサートは都会に出かけずとも素晴らしい演奏に触れられる、高齢者にとって大切な機会だ」等の、意見が寄せられた。 ③「ささえる」、「そだてる」取組としてダンスワークショップを12回実施した。8/27に中間発表会を実施し、60名の生徒が出演し、184名の来場者を得た。	A	施設予約の代理抽選制度は、独自の取組であり、利用者からも好評を得ている。他の文化施設にも情報共有しており、今後の広がりに期待できる。施設の利用促進、利便性向上につながる取組として、積極的に評価したい。	条例やビジョンに基づき、以下の取組を行った。 ①ビジョンの「ささえる」、「つたえる」取組として「ロビーコンサート」を11回実施した。 ②「つたえる」取組として「モーニングコンサート」（ピアノの演奏）を12月に実施した。入場者数85名と今年度初めて80名を超える集客となった。アンケートでは、「心がこもった良い音色だった」「一人でも気安くて安心した」等、演奏自体を楽しんだ様子や気軽に足を運べるコンサートの形態を気に入っていただけた様子が伺えた。 ③「ささえる」、「そだてる」取組としてダンスワークショップを12回実施した。 ④「こたえる」取組として、会議室などの諸室のみ、施設予約の抽選を代理で行う制度を開始した。利用者からの要望を踏まえて導入したものだが、好評を得ており、文化施設の館長会議で情報を共有した。	A	ダンスワークショップや青少年のための南大沢音楽祭など、文化芸術活動の担い手育成につながる取組に力を入れている。文化芸術を「そだてる」、「つたえる」につながるものであり、積極的に評価したい。	条例やビジョンに基づき、以下の取組を行った。 ①ビジョンの「ささえる」、「つたえる」取組として「ロビーコンサート」を11回実施した。（R5年度累計40回実施） ②「つたえる」取組として「モーニングコンサート」（ピアノの演奏）を2月に実施し、入場者数75名の集客となった。アンケートでは、「お話がとても良かったです。素晴らしいお人柄。いい音でした。」「曲の背景を説明してくださったので、聞いていて曲のイメージが広がった。」等、演奏だけでなく出演者トークも含めてを楽しんだお客様が多数いらした。 ③「ささえる」、「そだてる」取組としてダンスワークショップを13回実施した。3/17に発表会を実施し、56名の生徒が出演し、536名の来場者を得た。また、10周年を記念して、工科大の学生も発表会に参加し、子どもたちに刺激となった。
	定性的 資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」（H-EMS)に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか 【ヒアリング等で確認】	33	B		市環境マネジメントシステム（H-EMS）に沿って、両面印刷やごみの計量等の取組を行った。 5月1日からノーネクタイ・ノー上着の軽装での執務を実施している。	B		市環境マネジメントシステム（H-EMS）に沿って、両面印刷やごみの計量等の取組を行った。 引き続きノーネクタイ・ノー上着の軽装での執務を実施している。	B		市環境マネジメントシステム（H-EMS）に沿って、両面印刷やごみの計量等の取組を行った。 12/15環境マネジメント研修　2名参加。	B		市環境マネジメントシステム（H-EMS）に沿い取り組みを実施。 ウォームビズ、両面印刷、ごみの計量・分別、こまめな消灯等を行い環境配慮に努めた。

令和5年度モニタリングシート【南大沢文化会館】

視点	評価項目			No.	6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価（コメント）	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価（コメント）	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価（コメント）	期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定量的	個人情報保護関連研修(情報セキュリティ・マイナンバー等） への参加回数【1回／年】		34	-	年度末の数値をもって評価する。	第1四半期での実績なし。 財団の個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行っている。	-		第2四半期での実績なし。 財団の個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行っている。	-		第3四半期での実績なし。 財団の個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行っている。	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	2/8情報セキュリティ研修受講　1名 財団の個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行った。
	定量的	防災・消防訓練の実施・参加	3回/年 避難訓練コンサート実施のほか、フレスコ南大沢のビル管理会社「平成ビル」主催の共同消防訓練に2回参加する。	35	-	年度末の数値をもって評価する。	フレスコ南大沢が大規模改修工事中のため、共同防災訓練ができないことから、施設ごとに部分訓練を行うこととなった。 6/20に消防訓練（部分訓練）を行い、通報訓練に10名、消火器消火栓の設置場所確認等の訓練に5名が参加した。次回は、11月に実施予定。	-		10月の避難訓練コンサート実施に向けて、9/20に平成ビルと、9/26に参加校と打合せを行った。	-	避難訓練コンサートは、消防署にも参加してもらい、不十分だった点を指摘してもらうことで、緊急時に対応できるよう備えていた。隔年で実施するが、改善を要する点は直ちに改善する旨、報告があった。	10/18に避難訓練コンサートを実施。コロナで参加を控えていた上柚木小も加わり、3校、190名が参加した。 子どもたちのアンケートでは、突然地震の演出が始まったことに驚きながらも、係員の指示に従ってしっかり避難できたとの意見が多かった。 また、避難訓練コンサートの前日、10/17に、防災センターの職員が講師となり、屋内消火栓の使い方の訓練を行った。	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	年度内に避難訓練コンサートを含め計3回実施した。
	定量的	AED資格取得率　【100%】		36	-	年度末の数値をもって評価する。	100%取得している。 （R5年3月・4月に採用した2名は、10月に取得予定。）	-		100%取得している。	-		100%取得している。（R5年3月に採用した1名は、10月に取得した。R5年8月採用職員はR6年度に受講予定）	B		100%取得した。（R5年8月採用職員はR6年度に受講予定）
	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか 【確認資料例：マニュアル、事業計画書（事業計画）、事業報告書】	37	B		財団の個人情報保護規程及び個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行っている。	B		財団の個人情報保護規程及び個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行っている。	B		財団の個人情報保護規程及び個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行っている。	B		財団の個人情報保護規程及び個人情報安全管理実施要綱に基づき適切な管理を行った。
	定性的	緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【確認資料例：保険証券】	38	B		令和5年（2023年）度分加入済。	B		令和5年（2023年）度分加入済。	B		令和5年（2023年）度分加入済。	B		令和5年（2023年）度分加入済。
	定性的		事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。 【確認資料例：マニュアル・事業計画書（事業計画）、事業報告書】	39	B		・4月の異動で館長が代わったため、防火防災管理新規講習を受講後、防火・防災管理者選任届及び消防計画を八王子消防署に提出した。 ・新型コロナウイルス感染症は5類となったが、引き続き手指消毒用アルコールを設置した。 ・日常点検では、戸締まり、消灯、避難経路や防火扉付近に物が置かれていないかなど、毎日確認を行い、緊急時に適切な対応が行えるよう、安全対策に努めた。	B		・3年に1度の防火防災特例認定申請を行った。10月に消防署の立入検査を受ける。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き手指消毒用アルコールを設置した。 ・日常点検では、戸締まり、消灯、避難経路や防火扉付近に物が置かれていないかなど、毎日確認を行い、緊急時に適切な対応が行えるよう、安全対策に努めた。	B		・9月に消防署に申請した防火防災特例認定の立入検査を10/11に受けた。その後、追加の項目について、10/18に検査を受け、11/1に特例認定された。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き手指消毒用アルコールを設置した。 ・日常点検では、戸締まり、消灯、避難経路や防火扉付近に物が置かれていないかなど、毎日確認を行い、緊急時に適切な対応が行えるよう、安全対策に努めた。	B		・10月の消防署の立入検査の際、口頭で物置のカーテンを防炎のものにするよう指導があったことを受け、防炎ロールスクリーンを設置した。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き手指消毒用アルコールを設置した。 ・日常点検では、戸締まり、消灯、避難経路や防火扉付近に物が置かれていないかなど、毎日確認を行い、緊急時に適切な対応が行えるよう、安全対策に努めた。

期末総合評価	B
所管課コメント	【施設の管理・運営を安定して行うことができるか】 人員や有資格者の配置は、概ね適切に行われており、人材育成のための各種研修も適正に行われている。経理状況や利用料金収入についても問題は見られなかった。 【施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか】 開館日数、時間は適正であり、文書や備品の管理、施設の保全等も適切に行われていた。備品リストと現品の照合を行い、相違がないことを確認していた。また、施設各所の点検・修繕も適切に行われている。 【施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか】 利用者満足度は非常に高い水準を維持している。また、利用者に向けた情報発信を積極的に行っている。利用者からの要望、苦情について概ね適切に対応している。 【事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行なわれているか】 利用率は概ね高い水準にあるが、利用者数の目標は未達となった。南大沢音楽祭やダンスワークショップ、小学生を対象とした避難訓練コンサートなど、工夫を凝らして事業を展開している。 【個人情報保護管理及び危機管理が図られているか】 個人情報の管理、危機管理体制の確立について、いずれも適正に行われていた。消防署、ビル管理会社など関係機関とも十分に連携が図られており、安心して施設の管理運営を任せることができた。 【総括】 地域との関わりを大切にした事業展開により、施設の設置目的の一つである「地域文化の向上」を図っている。ロビーコンサートは、文化芸術ビジョンの「ささえる」、「とどける」に資する取組であり、また、ダンスワークショップ、避難訓練コンサート、南大沢音楽祭など、子どもを主な対象とする事業は「そだてる」、「つたえる」につながる取り組みとして評価できる。地域文化の発信拠点としてさらに市民に広く親しまれるよう、今後の展開に期待したい。